



「無財の七施」と笑顔の効用 一笑う門には福が来る一

理事長 澤田 勝寛

「無財の七施」とは、お金や地位がなくても誰でもできるお布施で、次の七つをさす。

- 一 眼施(げんせ)：やさしい眼差しで人に接する
- 二 和顔施(わごんせ)：にこやかな顔で接する
- 三 言辞施(ごんじせ)：やさしい言葉で接する
- 四 身施(しんせ)：自分の身体で、できることを奉仕する
- 五 心施(しんせ)：他のために心をくばる
- 六 床座施(しょうざせ)：席や場所を譲る
- 七 房舎施(ぼうじゃせ)：自分の家を提供する

そのうちの和顔施が笑顔のことである。顔はその人の気持ちを表す。すてきな笑顔、和やかな笑顔を見ると幸せな気持ちになる。周りにも笑顔が広がる。腹の立つこともたくさんあるが、暮らしの中ではいつもにこにこして、和やかで穏やかな笑顔を絶やさぬよう心がけようと

いう意味である。

ローマの英雄シーザーは笑顔でクレオパトラの心を射止めた。シーザーは、健気で颯爽とし澆刺とした積極的な人物であつたらしい。そして何よりも彼の笑顔にクレオパトラは惹かれたという。クレオパトラのこんな言葉が残っている。

「不思議なるかな、ジュリアス・シーザーよ、彼が私を見てにっこり笑うと、たちまち私の心の中の沈んだ気持ちは晴れ晴れとなる。まして、彼に握手をされたときには、私の全身全霊は直ちに生まれた本然に立ち返る。私には、ただ単なる恋人としてではなく、それ以上の階級の高い、あれは私の人生になくってはならない存在だ」と。

シーザーは和顔施だけでなく、身施にも長けていたといえる。

船井総研の創設者、故船井幸雄さんは、コンサルタン

トの草分けである。それ以上に「人間としての生き方」を色々伝えられてきた方でもある。私も3回ほど直接話をうかがったことがある。髪は薄く丸顔でややタレ目。耳は大きく鼻も立派。いわゆる福顔。穏やかな表情で、にこやかに話をされていたのが印象に残っている。いつも言われていた「生き方のポイント」は、

- ① いつもニコニコしている
- ② いつも前向き
- ③ 肯定、感謝、プラス思考
- ④ 良い思いが実現するとの確信を持ち、それを強く思う
- ⑤ 他人の欠点など、どうでもいいことは気にしないの5つであった。中でも、いつもニコニコが一番印象に残っている。そう簡単にはできないが、笑顔で過ごす運が開けると、強調されていたのを思い出す。

小林正観さんも、著書「喜ばれる」の中で同じようなことを述べている。いつもニコニコして、人から物事を頼まれやすい明るい顔をしていると、人生はそこから開けてくる。自分で自分を磨く必要はない。磨く暇があれば頼まれやすい人になる方がいい。うれしい、楽しい、

幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ついている、という言葉が、常に自分の口から出てくるようにしていると、人相が変わり頼まれやすい顔になる。幸せになる条件は、宇宙を敵にまわさないこと、宇宙を味方につけること、神を味方につけることの三つである。神はきれいな人、心のきれいな人、身の回りが整理整頓された人が好きだそうだ。不平・不満・グチ・泣き言・悪口・文句をいっていると頼まれごとをされにくい顔になる。嬉しい、ありがとうという喜びの言葉をずっと言っていると、「笑顔」が板についてくる。そうすると神や宇宙から支援を得られるようになる。

笑顔で人に親切にすると、自分も磨かれ、まわりも幸せになるというのは、その通りだと思う。

笑顔は人生の木洩れ日である。もれてくるのは、その人の心。温かくて、元気に満ちていて、人を勇気づける光に満ちている。私たちは笑顔が大好きで、笑顔はあつという間に伝播する。無財の七施を意識し、笑顔を絶やさないことが大切である。

笑う門には福が来るのである。



財団選考委員就任にあたって

三井 貴彦

山梨大学大学院総合研究部泌尿器科学講座
教授

この度、本年度より選考委員を拝命いたしました三井貴彦と申します。

私は北海道大学を1993年に卒業した後、横須賀市にある在日アメリカ海軍病院での1年間の研修を経て北海道大学泌尿器科学教室に入局しました。北海道大学泌尿器科学教室は伝統的に二分脊椎など神経因性下部尿路機能障害の研究を行っており、その影響もあって私自身も二分脊椎の尿路管理をライフワークの一つにしています。その後、2015年に生まれ故郷にある山梨大学に赴任し、診療、研究、教育に携わっています。

二分脊椎の患者さんにとって排泄の問題は生活を送る上で大きな問題の一つです。また、尿路管理においては、

小児期から適切に行われないと症候性尿路感染、腎機能障害などの生命予後に関わる問題が生じます。そのため、生涯にわたって医療者が関与していく必要がある領域です。しかし、現状ではこの分野の課題も多く、二分脊椎の患者さんのより良い生活のためには、排泄の問題を改善する研究の役割は小さくないと考えています。

二分脊椎や水頭症の分野では、様々な素晴らしい基礎研究、臨床研究が行われており、この分野の発展に少しでも寄与されています。私自身も排泄に関わる泌尿器科医の一人として、その発展に少しでも貢献できるように尽力していきたいと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

事務局からの **お**たより

本年 1月 17日、阪神・淡路大震災から 30年になります。ついこの間のことのように思い出しますが、30年が経ちました。財団が設立されてちょうど一年が過ぎた時でした。さあ、これから、というときに、神戸の街は壊滅状態になり、財団の運営は大きな痛手の中での出発になりました。まず 1か月後に迫った設立初めての研究助成金贈呈式をどうしたものか…神戸での開催は到底不可能でしたので、神戸以外の地で開催するか、それとも見送るか、迷っていたとき、選考委員の一人であいらした、順天堂大学、当時の脳神経外科教授、佐藤潔先生が贈呈式の会場として同大学の会議室を提供してくださいました。寸断された交通機関を乗り継いで東京まで行き、大学に着いたときには、全てセティングしてくださっており、その時の感激は今も忘れることはありません。

贈呈式の開催にはこだわり続けてきましたが、2019年度から 2021年度の第 26回、第 27回、第 28回目の贈呈式は、コロナの感染拡大で自粛せざるを得ませんでした。この3年間はかえすがえすも残念なことでした。この経験を通して、受賞者の先生方に直接研究活動への激励を申し上げる機会として贈呈式はたいへん貴重であるとあらためて認識した次第です。本財団の研究助成金は、財団関係者、賛助会員お一人お一人のご支援が原資になっています。そのことをお伝えできる機会でもあります。

笑う門には福来たる！

いつもニコニコと笑いがあふれる人の家には、自然に福がめぐって来る、というお正月にもよく使われる縁起の良い諺です。2025年は平穏安寧と多幸の一年でありますよう希いを込めて澤田理事長のメッセージを掲載させていただきます。

財団役員・委員

財団は 8名の理事、うち 2名は代表理事、監事 2名、評議員 9名、選考委員 7名の先生方で運営されています。理事、選考委員の任期は 2年、監事、評議員の任期は 4年です。理事、監事、評議員は評議員会で選任され、選考委員は理事会で選任されます。

11月 19日、三井貴彦先生が選考委員に、12月 6日、佐野のぞみ先生が理事に、新井一先生が評議員に就任されました。

・理事（8名）

長嶋 達也（代表理事・会長）
公益財団法人兵庫県健康財団理事長、
兵庫県立こども病院名誉院長
澤田 勝寛（代表理事・理事長）
（医）慈恵会理事長

坂本 博昭 大阪公立大学大学院医学研究科脳神経外科
特任教授、大阪市立総合医療センター小児
脳外科教育顧問
篠山 隆司 神戸大学大学院医学研究科脳神経外科分野
教授
佐野 のぞみ 鹿児島市立病院、（医）童仁会池田病院
小児科
関 芳弘 衆議院議員
伊達 裕昭（医）鎮誠会季美の森リハビリテーション
病院長、千葉県こども病院名誉院長
寺師 浩人 神戸大学大学院医学研究科形成外科分野
教授

・監事（2名）

川本 章雄 公認会計士・税理士
和田 長平 播州信用金庫会長

・評議員（9名）

明石 博隆 弁護士、明石博隆法律事務所長
阿部 弘 北海道脳神経外科記念病院名誉顧問、
北海道大学名誉教授
新井 一 学校法人順天堂理事長補佐、
順天堂大学医学部脳神経外科名誉教授
家次 恒 シスメックス株式会社代表取締役会長
グループ CEO
石川 正恒 洛和会音羽病院正常圧水頭症センター
所長、洛和ピライリオス施設長
甲村 英二 公立学校共済組合近畿中央病院長、
神戸大学名誉教授
藤澤 正人 神戸大学学長
三木 明德 神戸総合医療専門学校長、
神戸大学名誉教授
村上 卓道 神戸大学大学院医学研究科長・医学部長、
放射線診断学分野教授

・選考委員（7名）

山内 康雄（選考委員長）
もりぐち清水会病院名誉院長
数井 裕光 高知大学医学部神経精神科学講座教授
佐谷 秀行 藤田医科大学腫瘍医学研究センター長兼
特命教授、慶応義塾大学名誉教授
塩田 浩平 公益財団法人ひと・健康・未来研究財団
理事長、京都大学名誉教授、滋賀医科大学
名誉教授
高田 哲 神戸市総合療育センター診療所長、
神戸大学名誉教授
三井 貴彦 山梨大学大学院総合研究部泌尿器科学講座
教授
南 康博 神戸大学大学院医学研究科細胞生物学分野
教授



表紙の写真

神戸市須磨の綱敷天満宮です。学問の神様、菅原道真公を祀り、地元では須磨の天神さまと呼ばれています。

その昔、道真公が京都から大宰府へ移動される途中、風雨を避けて立ち寄ったといわれるのが当地、須磨です。そのとき須磨の漁師が漁に使う大綱で敷物がわりに巻円座を作り、道真公をもてなしたといわれています。それにちなんで道真公の死後、この地に創建されました。

天満宮には道真公のお使いの「牛」がいます。道真公は丑年だった、大宰府への左遷の時、道真公は牛に乗って大宰府へ下った、牛が刺客から道真公を守った、道真公の御遺骸を乗せた車を引く牛が座り込んで動かなくなり、臥牛と呼ばれる座った姿勢になった、その場所をご墓所と定めた、など、道真公には牛にまつわる言伝えや縁起が数多くあります。牛は御祭神の使者とされ、縁起が良いといわれ、須磨の天満宮の牛は、受験前になると「必勝」の鉢巻をしています。

境内には30種類、120本の梅の木が植えられおり、春はきれいな花が咲き、秋から冬にかけては朱色の神殿と同じ色に紅葉し、とても綺麗です。鳥居をくぐると手水舎(てみずや)があり、天井内側には迫力のある龍神の絵が描かれています(写真上)。

本年もよろしくお願いたします

2025年が良い一年でありますように、皆様のご健康とご活躍をお祈りしております。今年も引き続きご指導の程、お願いたします。

九十九 そのえ (1/7)

Brain and Spinal Cord "B & C" Vol. 31-4

発行日：2025年1月15日 発行者：長嶋 達也 編集者：九十九 そのえ

- Contents
- ① 「無財の七施」と笑顔の効用
- 笑う門には福が来る - ... 澤田 勝寛
 - ② 財団選考委員就任にあたって ... 三井 貴彦
 - ③ 事務局からのおたより

公益財団法人 日本二分脊椎・水頭症研究振興財団

〒654-0047 神戸市須磨区磯馴町 4-1-6

Tel: 078-739-1993 Fax: 078-732-7350

E-mail: jsatoshi@xa2.so-net.ne.jp <https://spinabifida-research.com>

表紙の写真：綱敷天満宮 (須磨)

